

こんにちは 山田耕平 です

2013.10.10 No.131

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



沿線住民の不安の声にも関わらず… 本格工事に向け、一気に加速 外環道路計画

オリンピックピックを目指しての 本格工事着工ストップを

二〇二〇年の東京オリンピックピック招致の決定を受け、外環道計画の本格工事着工に向けた動きが加速しています。

各地で住民を対象とした説明会が開催され、事業認可に向けての準備が始まっています。

しかし、この間、シールド工法や大深度地下の利用に関して、様々な問題が発生している状況です（裏面参照）。また、国は、多くの住民から寄せられている不安の声や情報提供を求める声には、全く応えていません（下図）。

外環道は、住宅街の直下・地下四〇m以深の大深度地下を利用した「前例のない」大規模工事となります。

オリンピックを理由とした安易な本格工事着工は許されません。



各地の住民説明会では、住民への質疑時間が十分に保障されず、不誠実な対応が繰り返されています。

各地で開催された外環道計画に関する住民説明会等

開催目的	日程	地域
道路の立体的区域の決定及び区分地上権設定に関する説明の場	8月25～30日	IC・JCT 該当地域
大深度地下使用認可申請に向けた説明会	9月2～6日	大深度地下該当地域
オープンハウス	9月9～13日	計画該当地域 全域
第8回外環の地上部街路に関する話し合いの会	9月17日	杉並区

外環の2地上部街路話し合いの会 町会等も含め 外環の2ストップの声

外環道本線に合わせて、外環の2計画の検討も進められています。

9月に開催された第8回話し合いの会では、今回も議事進行や住民の質疑・提案への時間が保障されず、紛糾しました。

今回、構成員の3名から、それぞれの意見が発表されました。その全ての意見が「外環の2は必要ない」というものであり、構成員の一人は、所属する町会の意見も紹介し、地上部街路が不要とされていることを示しました。

杉並区は住民の声を受け止め、外環の2計画中止の立場を明らかにすべきです。

国から寄せられた「住民の質問」への回答表。既存資料ナンバーを羅列する極めて不十分な内容となっている。

大型開発優先から 住民の暮らし第一へ

そもそも、来年四月の消費税増税（8%）が示される中、一兆三千億円もの巨額の税金を注ぎ込み、大型開発が優先されるのは重大な問題です。

「庶民には大増税」その一方「大企業には大減税の大盤振る舞い」さらに「大型公共事業には湯水の如く税金を注ぎ込む」この様な異常な政治を直ちに転換することが必要です。

大型開発の典型例でもある外環道路計画の中止に向けて、全力を尽くします。

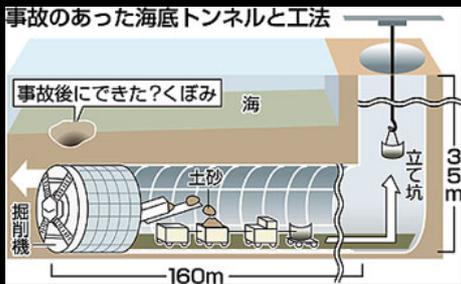
『安全』とされた前提が崩れ始める

シールド工法 地下水
耐震問題等々 問題山積...

シールド工法の不安定性

岡山県倉敷市で発生した海底トンネル事故は、これまで『安全』とされてきたシールド工法の危険性や不安定性を明らかにしました。

事故調査を担う「シールドトンネル施工技術安全向上協議会」による検証では、事故原因の解明が遅れるなか、緊急に「中間まとめ」を発表。同工法を使用している現場への注意を促しています。報告書では「影響の全てを設計で考慮することは困難」「施工現場の状況によって事故発生時の被害の度合いが大きく異なる」等、「設計では予測できないこと」とする表現があちこちに示され、シールド工法の問題の深刻さを明らかにしています。



原因究明も遅れている

地下水断絶による地盤変異

地下水への重大な影響が懸念されます。9月下旬に行なわれた学習会では、地下水問題の権威であり、各地で地質調査のコンサルタントも勤める柴崎直明福島大学教授が、地下水問題についての講演を行いました。

講演では、外環道計画で示されている地下水への影響評価データが極めて粗い事が示され、様々な条件を付していない評価は安全性を証明できないことが明らかにされました。

また、実際に、数通りの簡易シュミレーションを示し、地域条件により、地盤変位などの様々な影響をもたらす地下水問題の危険性を明らかにしました。



外環道計画該当地域の地層断面図

問題の詳細説明と解決策なしに
本格工事着工は許されぬまま
外環道計画の本格工事着工に向けた動きが進むなか、今まで『安全』とされてきた計画について、様々な問題が指摘され始めています。その一部を紹介いたします。

育メン日誌

元気な女の子が生まれました！

9月27日（金）午前10時15分、3308gの元気な女の子が生まれました！

母子ともに健康で、産まれたばかりなのに母親はミルクティーをガブ飲み、赤ちゃんはおっぱいをガブ飲み（笑）母親に似たのか、大きくなりそうです。

議会真っ最中で大変ですが、育メン&議会活動を両立して頑張りたいと思います。

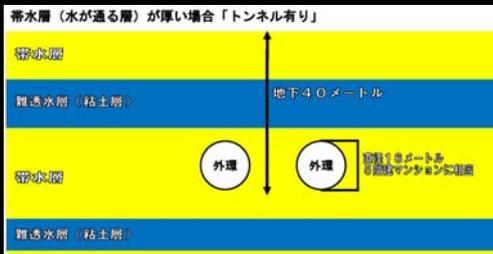
なお、娘の名前は「咲希（さき）」と名付けました。“この子の未来に希望の花が咲くように”という意味を込めて！

さあ、育メンの第2ステージ開始です！

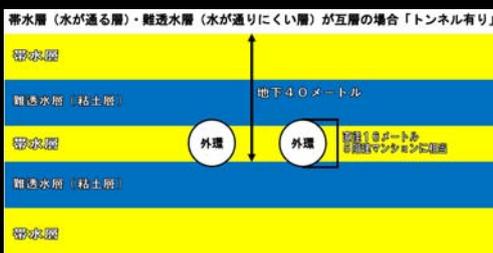
みなさんのお祝いの言葉、激励に深く感謝いたします！



無事に生まれてくれてホッとしています。娘の誕生に、既に、パパはメロメロです！



左記事例 水が通る帯水層が外環トンネルにより断絶されないため、地下水や地盤変位等の影響は少ない。



左記事例 水が通る帯水層が外環トンネルにより断絶されるため、地下水への影響が極めて大きく地盤変位は上記事例の十数倍以上の影響（上流の地盤上昇、下流の地盤陥没）がある。

耐震上の安全性が揺らぐ

外環道は大深度地下を使用するため、地震動の影響を受けにくいとされていました。東日本大震災が発生して以降も『耐震上は問題がない』とされています。

しかし、外環と同じ大深度地下利用を想定して、検討が進められるリニア中央新幹線では、国会での党議員の質疑に対し、担当の鉄道局長が『（耐震性に関して）沖積層が厚く堆積した首都圏や名古屋市付近では建造物に影響を与えるような地盤変異が想定される』と答弁。耐震上の安全性が揺らぐ事態となっています。